

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	2022年4月に理念変更を行いました。事業所に掲示して、意識付けをして毎月のミーティングにて理念に沿った行動が出来ているか確認をしています	職員と一緒に検討し事業所の理念を掲げており、理念の実践ができるように年度の事業所目標や個人目標も設定し、振り返りの機会も設けています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現在、コロナウイルス拡大に伴い実施はしていない。感染業況を見ながら、参加は検討をしていきます	地域のこども食堂へご利用者と一緒につったお菓子を寄付したり、現在は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、例年では事業所行事に地域の方にも参加していただいたり、地域の納涼会や畑作りにも参加するなどし、地域との交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新規申し込みの中で、介護サービス相談を受ける事もあります		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は、新型コロナウイルスの影響で書面開催となっているが、ご家族・地域包括支援センター・町内会・薬局へ状況報告を行っています	今年度は新型コロナウイルスの影響で書面開催となっていますが、ご家族、地域包括支援センター、町内会長、薬局へ事業所の状況報告を2ヶ月に1度行っています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	現在の所行っていません(新型コロナウイルスにより) 包括支援センターとは連携を図り、研修等実施予定です	運営推進会議にて地域包括支援センター職員には、事業所の状況報告を定期的にしており、不明な点に関しては市に確認するなど、関係を構築しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	二か月に一度、身体拘束虐待防止委員会を開き、職員への研修・意見交換会を行っている。運営推進委員会にて二か月に一度報告を行っています	身体拘束をしない方針であり、玄関の施錠も夜間帯のみとしています。また、定期的に身体拘束高齢者虐待防止委員会で研修の機会を設けるなど、職員の理解を深めています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年二回の虐待研修を行っています また、運営推進にて報告 包括支援センターより訪問して頂き、事業所内の把握及び研修実施	身体拘束同様に虐待についても事例を用いて、身体拘束高齢者虐待防止委員会で定期的に確認する機会を設けています。普段の生活の中でも対応について考えながら、防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的な研修を行い、知識を深める勉強会を行っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	パンフレット・契約書・重要事項説明書等を用いて入居前に説明を行っています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からの問い合わせや運営推進委員会で戴いた要望について、サービス向上につなげています	ご家族の面会時や電話でのやりとりの際に意見を確認しているほか、介護計画書の見直しの際にも意向を確認しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の、ミーティングにて意見交換や面談をすることでスタッフの意見交換を行っています また全員が発言ができる環境を整えやらされ感なく実施できるように努めています	率直な意見や提案が職員間で共有できるように、毎月の職員会議にて職員の意見を確認する機会を設けています。また、個別面談も状況に合わせて実施しており、職員の意見や要望を把握できるように努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のスキルアップ研修・資格取得支援体制が。グループホームで働く楽しみ・やりがいの発見を促し、職員・入居者様共に笑顔の絶えない環境づくりをしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、会社が定める法定研修を行っている研修教材Ecare laboを使用して、研修できる環境を提供しております 上記教材を活用することで会議、ミーティングの時間を有効に使用できています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	会社内にて、他事業所との横の繋がりができるようにしています 他社とは現在行っておりません		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	グループホームで自宅で過ごすような環境づくりを一緒に考えていくようにしている。生きがいづくりとして、やりたい事や趣味好きな食べ物をアセスメントしております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	自宅訪問・ご自宅訪問の際に、ご家族様からご自宅での様子を聞いたり、困りごとの話をすることで関係性作りに努めています ご家族様の生活環境や価値感などもしっかり受け止め関係を構築しています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族やケアマネージャー様の話を聞いたうえで、生活、認知症ケアとして何が必要かご家族に説明を行っている 特に計画作成担当者へは見極めるスキル、能力向上を日々行っている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様のできる事を大切にして、それを日課として掃除・洗濯・趣味活動として職員と一緒にやる事を大切にしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在は、新型コロナウイルス感染予防の為行っていない事もあるが、毎月の報告書送付やご家族の受診をして頂き交流の機会を設けています また、電話やメール等も活用し交流できる環境を作っています	ご家族には毎月、活動の様子をまとめた広報を送付し情報を伝えているほか、居室担当者が毎月お手紙を送りご家族との情報の共有に努めています。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在、新型コロナウイルス感染予防の為行っていない所もあるが、リモートやアクリル越しの面会を行っています	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、ご家族にも協力頂き受診へ出かけたり、面会も行うなど、関係が継続できるよう支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	手作業・レクリエーション・食事の席を考えて共有できる仲間ができるようにしている。職員が間に入る事で会話や手作業が出来る環境づくりも考えています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方からも、お電話を頂き、フォローすることもあります		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何を食いたいのか？、何をしたいのか？等ご本人様の意思を尊重するようにし、買い物へ行く事散歩などの要望に答えています	ご本人、ご家族の要望を確認し担当者会議にて一人ひとりの介護計画に反映できるよう努めています。ご利用者が表現が困難な場合も、日頃の生活の中でのお話などから意向を確認するようにしています。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご本人・ご家族様からの話や入居後はご本人様とのコミュニケーションの中ご家族との面会・連絡得た情報をフェイスシートに記載して生活ケアに活かしています	入居時に把握した情報だけではなく、日々の生活でご利用者との会話や、ご家族からの情報収集により情報の把握に努めています。また、定期的に情報の見直しも行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様のできる事を続ける為にも家事をしていくことを進めその中で生活のリズムを整え保有能力維持・職員把握に繋げている。出来ない事ではなく、どうしたらできるか考えている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族様との面会時・連絡時の意見や職員のカンファレンス・日々のケアをヒントにしてその方のストレングスに注目した計画書心がけている	3ヶ月に1回モニタリングを実施し、課題の把握や対応方法について検討しています。必要に応じてご家族からの意見等もお聞きし、介護計画に反映させています。	サービス担当者会議録の様式について、複数の様式が使用されていたので、今後統一した様式に改善されることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録方式をフォーカスチャータリング方式にすることで状態やケアにつなげやすい記録にしている介護計画書や連動・評価もしやすくなっている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は、新型コロナウイルス感染予防の為行えていない。食事の面では、入居者様にリクエストを聞いて献立に取り入れている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	現在は、新型コロナウイルス予防の為行えていない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医受診の際は、ご家族様に受診をお願いをしています	ご家族に受診をお願いしているご利用者もおりますが、協力医との連携を図り適切な医療を受けられるよう支援しており、定期的に往診に来ていただいています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居以前のかかりつけ医を希望している方は、引き続きご家族様にて対応され受診して頂いている。連携医の水戸病院、南病院に訪問診療、必要に応じ受診介助を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ソーシャルワーカーや看護師と状態の報告・連絡・相談を行っている 入退院に関わらず日頃より、訪問診療を通して情報共有している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の契約時に、看取りについて説明を行うと共に重度化・看取り期に対する指針を説明しております 指針について適宜話し合いを行い、その方も看取りにあった支援を提供している	重度化した場合や終末期の対応については事業所としての指針も作成し、契約時にご家族に同意を頂いているほか、状態に応じて話し合いの機会も設けています。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応は、事業所の研修に組み込まれて実施している。2階にはAEDの設置がある 外部研修への参加も職員へ周知している	事業所で緊急時対応の研修や普通救命講習も実施しており、職員が適切な初期対応ができるように指導しています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	事業所の災害時対応の研修を行いマニュアルの整備も行っている	定期的に併設事業所と合同で日中・夜間の火災を想定した避難訓練を行ない、地域の方にも災害時の協力をお願いしています。また、災害時を想定した非常用の食品や水も確保されています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は、一人一人の生活を意識して言葉かけ・介助を行っている2ヶ月毎に行っている 身体拘束委員会でも言葉掛けについて振り返り意見交換を行っています	広報やホームページへの写真の掲載についても同意書を頂いており、情報保護に関する研修や日々の業務を通して周知徹底に努めています。また個人情報保護マニュアルを整備し、社内規定にも明記されており、対応方法を徹底しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の中の意思決定はすべて入居者様の意思を聞いてして頂いている。お仕事をお願いする時はしたくないという意味も大切にします		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は入居者様の生活目線で業務するのではなく、生活を共にするという意識を持っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧品や化粧水等も以前より使われていたものを継続して使っている 衣類についても職員が選ぶのではなく、ご自身で着たい服を選択してもらい、選ぶ楽しさも継続して実感して頂いています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日頃の献立のほかにデリバリーサービスの活用を考えているまた、給茶機を設置して自由に飲めるようにしています 食形態の変更もその方にあったものを提供（ムース食、ミキサー食等）	ご利用者の負担にならない範囲で食事の準備や後片付けも一緒に行っています。お楽しみメニューを取り入れたり、ご利用者と一緒にパフェづくりも行うなど、ご利用者に食事を楽しんでもらえるよう取り組んでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの考えらえた食事の提供を行っている。食形態や食器等のその方に合わせて提供をしています 管理栄養士指導の元、支援を行っています（体重管理や塩分、水分など）		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの言葉掛けをしている。歯の治療の必要な方は、訪問診療で治療の支援をしております		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	歩行支援・トイレ誘導を行いおむつからリハビリに変更、リハビリから布パンに変更した方もいらっしゃる	ご利用者全員を対象に水分・排泄チェックを行い、一人ひとりの排泄パターンを把握することで気持ちよく自然に排泄ができるように日々取り組んでいます。羞恥心を配慮した介助の必要性を職員にも周知しています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	かかりつけ医との連携で服薬・食事・水分・運動面などの支援から便秘の方も排便が、2.3日中に見られるようになっていきます 食事面では手作りのヨーグルトの提供やヤクルトなど		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員は入浴のお誘いはするが、本人の意思により入浴するかしないかを判断を支援している。入浴中は、洗体・洗髪はできる事はご自身で行って頂くように支援をしています	ご利用者の状況に合わせて入浴を支援し、入浴を嫌がる方も職員がタイミングを見て声かけを行い、入浴して頂けるように努めています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間・起床時間は入居者様の意思にお任せしている。入居者様によっては午前・午後休むことも勧めることもあります		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人服薬方法を考えて支援をしている。かかりつけ医と連携をして適切な処方減薬も行っています 変更時などは特に様子観察を行い適切な処方が行えるよう薬剤師へ報告		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様の負担にならないように、家事作業を手伝っていただいている。その方に合わせた趣味・手作業をして頂くことで認知症進行予防に力を入れています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	新型コロナウイルスの為、買い物・外食は行っていません。散歩は、スタッフと一緒に歩かれています。感染状況を見ながら、外出レクを企画していきます	今年度は新型コロナウイルスの影響で自粛していますが、季節に合わせたお花見や神社へのお参りなど、個別の外出支援での対応もできる範囲で行っています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金に関しては、現在GHではお預かりはしていません。ご家族・入居者様と相談によりご自身で管理する事も可能です		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話をお持ちの方で直接やり取りを行っている入居者様もいらっしゃいます		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングから、外の風景やバルコニーの景色を見れるようにし四季を感じれるように工夫をしています。浴室やトイレなど整理整頓を心がけこちよく過ごせるようにしています	ユニットにお花を飾ったり、共有スペースはご利用者がくつろぎながらテレビを見られるようになっています。普段の活動の様子をまとめた写真も掲示されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間のテーブル席は他者との相性やテレビ・トイレ等の動線にも配慮されている。リビングにソファの配置もありゆっくり過ごせるようになっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、ご本人・ご家族の希望で馴染みの物を設置している。家具・テレビの設置も入居者様に相談しながら設置してまいります	家具等は使い慣れたものを使用させていただき、身の回りには好みのものや思い出の品を飾ったり居心地のよい空間作りに努めています。また、ご家族の写真を飾ったり、ソファを置かれている入居者の方もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	台所は対面式になっておりテーブル席が見えるようになっている見守りが行き届く環境になっています		

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				